



AgileWorks R3

R3.2 リリースノート

第7版(2026/03/31)

目次／索引

1. 改版履歴	4
2. R3.2 の概要	5
2.1. リリース履歴	5
3. R3.2.0	6
3.1. 概要	6
3.2. 前提バージョン／環境	6
3.3. 更新モジュール	6
3.4. 対応環境の変更	8
3.5. 新機能	9
3.6. 機能改善・仕様変更	11
3.7. 解決した問題	14
4. R3.2.0a	21
4.1. 概要	21
4.2. 前提バージョン／環境	21
4.3. 更新モジュール	21
4.4. 対応環境の変更	22
4.5. 新機能	22
4.6. 機能改善・仕様変更	22
4.7. 解決した問題	23
5. R3.2.0b	25
5.1. 概要	25
5.2. 前提バージョン／環境	25
5.3. 更新モジュール	26
5.4. 対応環境の変更	26
5.1. 新機能	26
5.2. 機能改善・仕様変更	26
5.3. 解決した問題	27
6. R3.2.1	28
6.1. 概要	28
6.2. 前提バージョン／環境	28
6.3. 更新モジュール	28
6.4. 対応環境の変更	30
6.5. 新機能	31
6.6. 機能改善・仕様変更	33

6.7. 解決した問題 36

1. 改版履歴

版数	年月日	改版内容
第1版	2025年11月3日	作成
第2版	2025年11月05日	誤字を修正
第3版	2025年11月28日	ZA6184 に関する記述を追記
第4版	2025年12月18日	R3.2.0「 解決した問題 」に ZA6145、ZA6140 を追記 R3.2.0「 対応環境の変更 」に iOS26、iPadOS26 を追記
第5版	2025年12月22日	「 R3.2.0a 」を追記
第6版	2026年02月27日	「 R3.2.0b 」を追記
第7版	2026年03月31日	「 R3.2.1 」を追記

2. R3.2の概要

2.1. リリース履歴

バージョン	リリース日	インストール (※1)	概要
R3.2.0	2025年11月3日	○	● R3のマイナーバージョンアップです。
R3.2.0a	2025年12月22日	—	● R3.2.0へ適用可能な累積パッチです。
R3.2.0b	2026年02月27日	—	● R3.2.0(a)へ適用可能な累積パッチです。
R3.2.1	2026年03月31日	○	● R3.2のメンテナンスリリースです。

※1:チェックのあるバージョンは新規インストールが可能です。チェックのないバージョンは前提バージョンへの適用のみ可能です。

各バージョンのサポート期限やアップデート可能なバージョンなどについては「[バージョン別ライフサイクル](#)」をご確認ください。
製品ライフサイクルなどの情報は「[製品情報](#)」よりご確認ください。

3. R3.2.0

3.1. 概要

バージョン	リリース日	インストール (※1)	概要
R3.2.0	2025年11月3日	○	● R3のマイナーバージョンアップ

※1:チェックのあるバージョンは新規インストールが可能です。チェックのないバージョンは前提バージョンへの適用のみ可能です。

3.2. 前提バージョン／環境

- R3.1.1, R3.1.0, R3.0.1, R3.0.0, R2.13.2, R2.13.1, R2.13.0, R2.12.1 に適用できます。
 - 上記バージョンの場合でも、リリース日時点ではリリースされていなかった a,b 等の累積パッチリリースには適用できません。
 - 詳細は「[バージョン別ライフサイクル](#)」をご確認ください。
- 前提バージョン未満の場合は、一度前提バージョンへアップデートした後に R3.2.0 へアップデートを行ってください。
- 個別パッチ(R3.XX.Xz 等)を適用されている環境については適用可能か弊社サポートまでお問い合わせください。

3.3. 更新モジュール

モジュール	更新要否	補足	アップデート方法
AgileWorks 製品本体	○	AP サーバ複数台構成の場合は全 AP サーバがアップデート対象です。 SDK 開発者端末の AgileWorks にも忘れずにアップデートしてください。	別紙「AwU01- サーバアップデート.pdf」を参照
外部ジョブマネージャ	○	外部ジョブマネージャとして導入している場合のみアップデート対象です。	
外部メールサービス	○	外部メールサービスとして導入している場合のみア	

		アップデート対象です。	
ASB	○	ASB を導入している場合のみアップデート対象です。	
X-WebForm for Agile	○		新規インストールと同様の方法で上書きインストール
Eclipse Plugin	○		別紙「AwU02-Eclipse 環境アップデート(SDK).pdf」を参照

3.4. 対応環境の変更

対象	カテゴリ	新たにサポートする環境	サポートを終了する環境
サーバー動作環境	OS	Windows Server 2025	—
	Web サーバ	—	—
	アプリケーションサーバ	—	—
	DB	MySQL 8.4	—
	JDK	—	—
	サーバー環境	—	—
クライアント	OS	iOS 26, iPadOS 26	Windows 10
	ブラウザ	MacOS の Chrome と Edge(※1)	—
	モバイルオプション	iOS 26	—
	JRE	—	—
フォーム作成 (X-WebForm for Agile)	OS	—	Windows 10
	JDK	—	—
グループウェア 連携オプション	グループウェア	—	—

※1:管理サイト、ユーザーサイト、ガジェットを利用できるようになりました。

モバイルサイト、共通機能は利用できません。

X-WebForm、FlowEditor は利用できません。

3.5. 新機能

No	管理番号	カテゴリ	内容
1.	-	WebAPI	書類作成/申請 API で代理申請ができるようになりました <ul style="list-style-type: none"> ・「applyUserCode」に被代理申請者、「operateUserCode」に代理申請者を指定してください。 ・作成ステップが存在する回付ルールにて上記を満たして書類作成/申請 API を実行すると「送信」ではなく「代理申請」されます。 ・作成/申請前に下書き保存する場合は書類下書き保存 API にて「operateUserCode」に代理申請者を指定してください。
2.	-	ワークフロー	承認完了後の閲覧権限を承認者が持っているセクションロール、またはユニバーサルロールに対して付与することができるようになりました。 保管ステップの処理者設定 > 相対指定で以下の設定が利用できますので、要件に応じて回付ルールを修正してご利用ください。 <ul style="list-style-type: none"> ・回付組織 + 回付ロール ・回付組織の上位 + 回付ロール ・回付組織の下位 + 回付ロール ・回付ロール ・ステップ指定(組織) + 回付ロール ・ステップ指定(組織)の上位 + 回付ロール ・ステップ指定(組織)の下位 + 回付ロール ・ステップ指定(ロール) 「回付ロール」は回付処理ユーザーが持っているセクションロールに閲覧権限が付与されます。 ユニバーサルロールに閲覧権限を付与したい場合は処理者設定にユニバーサルロールを設定し、該当ステップが対象となるように保管ステップの処理者設定を行ってください。
3.		回付ルール	回付ルール設定を.xlsx ファイルにエクスポートできるようになりました 詳細は以下のマニュアルを参照ください。 <ul style="list-style-type: none"> ・Aw06-回付ルール設計・設定 <ul style="list-style-type: none"> > 4.23. 回付ルール定義書出力
4.	-	自動採番	自動採番に以下の予約語と指定したフィールド ID の入力値を含めることができるようになりました

			<ul style="list-style-type: none">・申請ユーザーの拡張項目 1～20・申請組織の拡張項目 1～20・フォームコード・回付ルールコード <p>【参考マニュアル】</p> <ul style="list-style-type: none">・Aw06-回付ルール設計・設定<ul style="list-style-type: none">→ 4.12. フォーム設定「自動採番フィールド」
--	--	--	---

3.6. 機能改善・仕様変更

No	管理番号	カテゴリ	内容
1.	ZA5715	インストーラ	AgileWorks/iceBerg を Windows 環境にインストールした場合に Tomcat の VM 引数に「-Dfile.encoding=UTF-8」が設定されるようになりました。 従来はインストール後に手動での追記が必要な設定でしたが、対応バージョン以降は自動で設定されます。
2.	ZA5687	インストーラ	インストーラで MySQL をインストールした場合の設定値を変更 前:max_allowed_packet=8M 後:max_allowed_packet=100M R3.2.0 へアップデートする場合、アップデートガイドの手順内で設定値の変更を行います。
3.	ZA5998	インストーラ	インストールされる Tomcat のバージョンが 9.0.107 になりました アップデートでは Tomcat のバージョンは更新されません。 Tomcat のバージョンを更新したい場合は以下のナレッジを参考に実施してください。 ・KB0178982:Tomcat のバージョンアップ https://support.atled.jp/agileworks?id=kb_article_view&sysparm_article=KB0178982
4.	ZA5864	インストーラ	MySQL 8.4.xx への対応に伴い、MySQL にて利用する JDBC ドライバのバージョンが 9.x に変更されます。 ※アップデートにて更新されます。 Bricklet で MySQL へ JDBC 接続を行っている場合は動作確認の上、必要な修正をお願いいたします。
5.	ZA5249	メールサーバー	Microsoft 365、または GoogleWorkspace の OAuth2.0 認証において、トークンの有効期限切れに対応しました。 本対応によって、トークンの有効期限が切れた際の OAuth2.0 の再設定が不要になります。 ・Microsoft 365 の場合 リフレッシュトークンの有効期限切れに対応 ・GoogleWorkspace の場合 アクセストークンの有効期限切れに対応

6.	ZA5252	メールサーバー	OAuth2.0 認証の設定時にメールサーバーへのリダイレクト URL に AgileWorks のシステム URL が利用されるようになりました。 本対応により、プロキシサーバーを利用している場合でも OAuth2.0 認証が行えるようになります。 ※システム URL にプロキシサーバーの FQDN を設定する必要があります。
7.	ZA5318	モバイルアプリ	モバイルオプションがない AgileWorks に対してモバイルアプリでログインした際のエラーメッセージを改善
8.	ZA6025	モバイルアプリ	内部処理の最適化を行いました
9.	ZA5844	リードタイムサマリ	リードタイムサマリ機能のパフォーマンスを改善 ※書類、ワークフローデータ、閲覧権限データが多い場合に効果が出やすい対応です。
10.	ZA5507	リストア	Linux 環境にてリストアスクリプトを実行後、リストアされたファイル、及びフォルダのオーナーとグループが agileworks に変更されるようになりました 本対応後のリストアスクリプトを利用する場合は対応されたバージョン以降の製品モジュールに同梱されているリストアスクリプトを利用してください。 「agileworks」以外のユーザーで AgileWorks や外部サービス、iceBerg を実行している場合は実行ユーザーに権限が付与されるよう、リストア後に対応を行ってください。
11.	ZA5717	公開フォーム関連データ	公開フォーム関連データエクスポートのパフォーマンスを改善 ※エクスポート対象が以下のような場合に効果が出やすい対応です。 ・対象の公開フォームの数が多い ・対象の回付ルールの履歴数が多い ・対象の回付ルールのステップ数が多い ・対象の回付ルールの紐づくフォーム、フォームの履歴が多い ・対象の回付ルールで設定に使ったフィールドが多い
12.	ZA5948	構成	内部処理の最適化を行いました
13.	ZA5698	書類移管	書類移管ジョブによる閲覧権限の移管が指定した書類件数単位でコミットされるようになりました。 本対応により 1 つの組織移管設定の対象書類数が多い場合でも複数回に分けて書類移管ジョブによる閲覧権限の移管ができるようになります。 書類件数は以下の設定で指定してください。 ・ファイル名 agileworks_sustem.properties ・設定項目名

			<p>transaction.commit.docTrans</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未指定時の動作 10,000 件単位でコミット <p>設定ファイルの詳細は以下のマニュアルを参照ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AwIO7-導入後の確認と運用管理 > 8. AgileWorks システム設定
14.	ZA5994	督促メール	<p>督促メール通知ジョブの処理が遅く、タイムアウトで処理が正常終了しない場合がある</p> <p>【対応】 最適化を行い不要な処理が行われないよう修正 ※エイトレッド検証時に以下のデータ量で 10 分で完了することを確認 → 対象書類数:4300 件/対象ユーザー数:1400 人</p>

3.7. 解決した問題

No	管理番号	カテゴリ	内容
1.	ZA5774	AI 連携	<p>校正・要約を実行時、ユーザーサイトで設定している言語に問わず、エラーメッセージが日本語で表示される</p> <p>【対応】 操作ユーザーが設定している言語でエラーメッセージが表示されるよう修正</p>
2.	ZA5441	FlowEditor	<p>回付ルールの新規保存時と更新時で分岐等の設定チェック対象になるフォームのバージョンが異なり、更新ではエラーにならないが、新規保存ではエラーになる場合がある</p> <p>【対応】 FlowEditor にて回付ルールを新規保存する際に適用終了しているバージョンに対する条件分岐チェックが行われないよう修正 ※適用中、または適用開始日が未来のバージョンについてはチェックされます</p>
3.	ZA2920	FlowEditor	<p>分岐開始/並列開始ノードをコピーして、貼り付けを行い、その下に条件/並列ノードを配置すると貼り付けた分岐開始/並列開始の回付ルール設定が表示されなくなる</p> <p>【対応】 分岐開始/並列開始ノードを分岐開始/並列開始ノードとしてコピー/貼り付けられるよう修正 回付ルール設定が正常に表示されるよう修正</p>
4.	ZA4000	iceBerg	<p>書類ビューのアクセス権限が AgileWorks から iceBerg に連携されない</p> <p>【対応】 組織同期化が有効な場合、書類のアーカイブ時に対応するフォームの書類ビューのアクセス権限が連携されるよう修正</p>
5.	ZA5779	JavaScript API	<p>書類新規作成時、WorkflowInfo.getStatusLabel()にて書類の状態が取得できない</p> <p>【対応】 条件に該当する場合でも WorkflowInfo.getStatusLabel()にて書類の状態が取得できるよう修正</p>
6.	ZA5731	PAPI	<p>組織とユーザーの適用期間外のデータについて、PAPI または WebAPI で更新/削除を行おうとするとエ</p>

		WebAPI	<p>ラー「更新対象データが存在しません。」が発生する</p> <p>【対応】 ユーザー、組織の更新、削除を行う際に利用する日付を以下のように修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユーザーの更新: criterionDate ・ユーザーの削除: criterionDate ・組織の更新: validityDateFm ・組織の更新: criterionDate <p>※上記の日付が設定されていない場合は現在日付を利用します</p>
7.	ZA5943	WebAPI	<p>SCIM API にて admin などのシステムデータを削除できてしまう</p> <p>【対応】 削除できないよう修正</p>
8.	ZA5941	WebAPI	<p>履歴モードが無効の場合、SCIM API で追加したユーザや組織が表示されず利用できない</p> <p>【対応】 履歴モードが無効の環境でも SCIM API でユーザーや組織を追加できるよう修正</p>
9.	ZA5835	X-WebForm	<p>スクロール形式の複数枚書類で2枚目以降のフィールドで校正・要約・翻訳を行うとアイコンが 1 枚目に表示される</p> <p>【対応】 校正・要約・翻訳を行ったページにアイコンが表示されるよう修正</p>
10.	ZA4107	インポート	<p>組織関連インポートジョブで組織(unit)をインポートする際、実際にはスキップされているレコードが、ログに更新とカウントされてしまうことがある</p> <p>【対応】 条件に該当した場合にスキップとしてカウントされ、ログに出力されるよう修正</p>
11.	ZA5618	クラウド版 ジョブ	<p>AgileWorks クラウド版にて不要なジョブ「バックアップディレクトリ監視」が表示されている</p> <p>【対応】 該当のジョブが表示されないよう修正</p>
12.	ZA5713	クラウド版	<p>AgileWorks クラウド版にて外部マスタ(拡張)に LONG 型を指定しても「DECIMAL(19)」と表示され</p>

		外部マスタ	る 【対応】 LONG 型として表示されるよう修正
13.	ZA5601	コメント/メモ	メモ通知先選択時、表示崩れやエラーが発生する場合がある 【対応】 条件に該当した場合に事象が発生しないよう修正
14.	ZA5445	ステージング	デプロイ後に同期化を実行すると外部データベースを利用している外部マスタ(拡張)がステージング環境上では AgileWorks のユーザー領域を利用していることになってしまう。 【対応】 条件に該当した場合でも外部マスタ(拡張)のスキーマが維持されるよう修正
15.	ZA5285	ステージング	同期化した際、ステージング環境に不要な外部マスタ(標準)のテーブルが残ることがある 【対応】 同期化時に外部マスタ(標準)のテーブルが残らないよう修正
16.	ZA5553	ビジネスチャット連携	ビジネスチャット通知先設定で通知種類を一定数選択するとデータベースエラーが発生する 【対応】 全ての通知種類を選択してもデータベースエラーが発生しないよう修正
17.	ZA3495	フォーム	コンボボックスの選択肢にフィルタ設定をした場合に、コンボボックスの不可視設定が効かずに可視状態となる 【対応】 条件に該当している場合でも不可視が維持されるよう修正
18.	ZA5043	フォーム	フォーカスの先頭がコンボボックスの場合、ブラウザ種別によってコンボボックスに初期フォーカスが当たらない 【対応】 条件に該当した場合に事象が発生しないよう修正
19.	ZA5580	フォーム管理	関連フォームが設定されたフォームの定義書をエクスポート時、関連フォームのフォーム名に特定記号の半

			<p>角文字が含まれている場合、フォーム定義書エクスポート時に異常終了となる</p> <p>【対応】 条件に該当する場合でもフォーム定義書をエクスポートできるよう修正</p>
20.	ZA5657	フォーム定義書	<p>フォーム定義書のエクスポートにて対象フォーム数が 128 以上の場合にエラーが発生する</p> <p>【対応】 選択したフォーム数に関わらずフォーム定義書をエクスポートできるよう修正</p> <p>※エクスポートするデータ数が多いとヒープメモリの消費量が多くなるなどパフォーマンスに影響がでる可能性があります。 大量のデータをエクスポートする際はログインユーザーが少ない時間帯などに実施してください。 運用上必要なデータ数を対象にエクスポートする際に、パフォーマンスに影響が出た場合は対象件数を少なくするか、ボトルネックとなる箇所を強化してください。 (AP/DB の CPU やヒープメモリなど)</p>
21.	ZA5824	モバイルアプリ	<p>モバイルアプリで接続先の URL が不正な場合に以前ログインしたことのある URL に接続する場合がある</p> <p>【対応】 条件に該当していると「接続」ボタンが押せないよう修正</p>
22.	ZA5718	モバイルアプリ	<p>モバイルアプリのログイン画面にて「QR コード読み」ボタンを複数回連続して押すとアプリが停止する</p> <p>【対応】 「QR コード読み」ボタンを連続で押せないよう修正</p>
23.	ZA5814	モバイルアプリ	<p>AndroidOS の場合、モバイルアプリからファイルを添付する際にカメラを起動できない</p> <p>【対応】 条件に該当した場合でもカメラを起動できるよう修正 ※カメラ操作に関する権限が許可されている必要があります</p>
24.	ZA5078	モバイルサイト	<p>PDF 出力を禁止しているステップでもモバイルサイトでは PDF を出力できる</p> <p>【対応】 条件に該当している状況で PDF が出力できないよう修正</p>

25.	ZA6101	モバイルサイト	FlowEditor で許可しない設定の操作のボタンが表示される場合がある 【対応】 条件に該当した場合に許可されていない操作のボタンが表示されないよう修正
26.	ZA5615	ログ	モバイルアプリ用 API でエラーが発生した場合のエラーログ出力でユーザー名がマスクされない 【対応】 モバイルアプリ操作によってエラーログに出力されたログもログインユーザー名がマスクされるよう修正
27.	ZA5663	ログ	モバイルアプリでログアウトするとエラーログに「AGWCMN-E0001」が出力される場合がある 【対応】 条件に該当した場合に「AGWCMN-E0001」が出力されないよう修正
28.	ZA5278	ワークフロー	引上げ時に後続ステップの処理者が削除される場合がある 【対応】 条件に該当した場合に事象が発生しないよう修正
29.	ZA5035	回付期限	回付期限のスキップによって、自動出力/自動申請 ステップに進んだ場合、処理が行われずに該当ステップに留まる 【対応】 条件に該当した場合でも自動出力/自動申請が実行され、後続ステップに回付されるよう修正
30.	ZA5040	外部データベース	外部データベース定義の新規作成時に「JDBC ドライバのアップロード」ボタンが表示されない。 【対応】 条件に該当している状況で「JDBC ドライバのアップロード」ボタンが表示されるよう修正。
31.	ZA5594	管理サイト	サイト状況 > ログインユーザーからログイン ID「admin」のセッションを削除実行するとエラーになる 【対応】 条件に該当している場合に「admin」ユーザーのセッションを削除できるよう修正
32.	ZA5119	検索	詳細検索で表明細のテキストフィールドに対し日付指定の検索を行うとシステムエラーが発生する 【対応】

			条件に該当してもエラーが発生せず検索できるよう修正
33.	ZA5246	公開フォーム	公開フォーム関連データインポート/デプロイ実行時にデータベースエラーが発生する 【対応】 条件に該当してもエラーが発生せずインポート/デプロイできるよう修正
34.	ZA5599	自動参照設定	代理承認されたステップに差戻し/引戻し後の承認時、自動参照の値が代理承認時のままとなる場合がある 【対応】 条件に該当している状況で承認を行った際に最新の承認者の値がセットされるよう修正
35.	ZA5754	組織図エクスポート	大量に組織が存在する状態で、全ての組織を選択して組織図エクスポートを実行すると、「AGWCMN-W0011 TargetType は 255 文字以内で入力してください。」というメッセージが表示されてエクスポートができない。 【対応】 選択した組織数に関わらず組織図をエクスポートできるよう修正 ・エクスポートファイルについて xlsx 形式の制限を超えたデータ数をエクスポートすることはできません。 また、データ数が多いほどエクスポートしたファイルの動作も重くなります。 ・パフォーマンスについて エクスポートするデータ数が多いとヒープメモリの消費量が多くなるなどパフォーマンスに影響がでる可能性があります。 全組織など大量のデータをエクスポートする際はログインユーザーが少ない時間帯などに実施してください。 運用上必要なデータ数を対象にエクスポートする際に、パフォーマンスに影響が出た場合はボトルネックとなる箇所を増強してください。 (AP/DB の CPU やヒープメモリなど)
36.	ZA5648	組織図エクスポート	組織図エクスポートウィンドウのタイトル末尾が表示されない 【対応】 タイトル末尾も表示されるよう修正
37.	ZA5879	添付ファイル	添付ファイル名にシングルクォート(アポストロフィ)が含まれている場合にエラーが発生し登録できない

			<p>【対応】 条件に該当する場合でも添付ファイルが登録できるよう修正</p>
38.	ZA5450	添付ファイル	<p>添付された PDF ファイルをプレビューするとエラーになり、プレビューに失敗する場合があります</p> <p>【対応】 ファイルサイズが大きい PDF をプレビューする際の処理を修正</p>
39.	ZA6184	FlowEditor	<p>FlowEditor で回付ルールを開くとコードが数字のみで構成されている組織を指定した処理者設定／除外設定が相対指定に置き換わってしまう場合があります。</p> <p>【対応】 条件に該当する場合に処理者設定／除外設定が置き換わらないよう修正</p> <p>※本件の対応は 2025 年 11 月 28 日に公開された R3.2.0 の製品モジュールにて改修されています。 改修後のモジュールを利用しているかどうかを確認する方法はサポートサイト「ZA6184」の回避方法からご確認をお願いいたします。 改修前のモジュールをご利用の場合、お手数ですがサポートサイト「製品モジュール:R3.2.x」より「r320_ZA6184_patch.zip」をダウンロードし、全 AP サーバーに適用をお願いいたします。</p>
40.	ZA6145	アップデート	<p>AP のアップデート後に利用しない jdbc ドライバが残る場合があります</p> <p>【対応】 AP のアップデート時に不要な jdbc ドライバを削除するよう修正</p>
41.	ZA6140	アップデート	<p>Windows 環境で DB のアップデート中にエラーが発生する場合があります</p> <p>【対応】 条件に該当する場合でもエラーが発生しないよう修正</p>

4. R3.2.0a

4.1. 概要

バージョン	リリース日	インストール (※1)	概要
R3.2.0a	2025年12月22日	－	● R3.2.0へ適用可能な累積パッチです。

※1:チェックのあるバージョンは新規インストールが可能です。チェックのないバージョンは前提バージョンへの適用のみ可能です。

4.2. 前提バージョン/環境

- R3.2.0に適用できます。
- 前提バージョン未満の場合は、一度前提バージョンへアップデートした後に適用してください。
- 個別パッチ(R3.XX.Xz等)を適用されている環境については適用可能か弊社サポートまでお問い合わせください。

4.3. 更新モジュール

モジュール	更新要否	補足	アップデート方法
AgileWorks 製品本体	○	APサーバー複数台構成の場合は全APサーバーがアップデート対象です。 SDK 開発者端末の AgileWorks にも忘れずにアップデートしてください。	別紙「R320a_パッチ適用手順.pdf」を参照
外部ジョブマネージャ	○	外部ジョブマネージャとして導入している場合のみアップデート対象です。	
外部メールサービス	○	外部メールサービスとして導入している場合のみアップデート対象です。	
ASB	－	ASB を導入している場合のみアップデート対象です。	
X-WebForm for Agile	○		新規インストールと同様の方法で上書き

			インストール
モバイルアプリ	○		各アプリストアより更新
Eclipse Plugin	—		別紙「AwU02-Eclipse 環境アップデート(SDK).pdf」を参照

4.4. 対応環境の変更

対応環境の変更はありません。

4.5. 新機能

新機能はありません。

4.6. 機能改善・仕様変更

機能改善・仕様変更はありません。

4.7. 解決した問題

No	管理番号	カテゴリ	内容
1.	ZA6135	WebAPI	AgileWorks オンプレミス環境および WebAPI オプションが適用されていない環境の場合、共通機能にログインできない 【対応】 条件に該当する場合でも共通機能にログインできるよう修正
2.	ZA6151	X-WebForm	マスタデータの名称に「:」(半角コロン)があるとマスタデータを表示できない 【対応】 条件に該当する場合でも事象が発生しないよう修正
3.	ZA6175	X-WebForm	フォーカスの先頭がリストボックスの場合、選択肢の文字が二重で表示される 【対応】 条件に該当する場合に選択肢が二重に表示されないよう修正
4.	ZA6038	ジョブマネージャ	ジョブの名称にタブ文字が含まれていると実行時にエラーが発生する 【対応】 条件に該当する場合でもジョブが実行できるよう修正
5.	ZA5520	モバイルアプリ	代理承認依頼のプッシュ通知から書類を開くとエラーになり、「操作」項目が表示されない 【対応】 代理承認依頼のプッシュ通知から書類を開き、操作できるように修正
6.	ZA5970	モバイルアプリ	モバイルアプリ操作時、実行動作が完了する前にログアウトするとセッションが残る場合がある (モバイルアプリの更新が必要です) 【対応】 実行中の操作がある場合はログアウトできないように修正
7.	ZA5965	モバイルアプリ	Android 端末にて複数の AgileWorks へログインしているとウィジェットからアプリを起動できない

			(モバイルアプリの更新が必要です) 【対応】 複数の AgileWorks へログインしている状態でもウィジェットからアプリを起動できるよう修正
8.	ZA5968	モバイルアプリ	iOS 端末にてファイルの添付時にビデオモードに切り替えるとアプリが落ちる (モバイルアプリの更新が必要です) 【対応】 条件に該当しても事象が発生しないよう修正
9.	ZA6070	モバイルアプリ	Android 端末にてファイルの添付時に動画撮影が行えない (モバイルアプリの更新が必要です) 【対応】 動画撮影ができるよう修正
10.	ZA6169	モバイルアプリ	モバイルサイト用システム URL を利用していてもアプリにログインできない場合がある 【対応】 条件に該当している場合でも事象が発生しないよう修正
11.	ZA6125	モバイルサイト／モバイルアプリ	モバイルサイト/モバイルアプリで書類を開いた際に正しく表示されない場合がある 【対応】 書類表示時の処理を最適化 ※R3.2.0a 時点で動作保証している iOS で事象が解消したことを確認しました。
12.	ZA6091	ワークフロー	後続ステップの処理者が代理承認権限を大量に持っているとき承認に時間がかかる場合がある 【対応】 承認時の代理承認権限の取得処理を最適化
13.	ZA6099	ワークフロー	別の書類から処理者が消えたり、承認処理・回付状況・証跡 PDF が不正な挙動になる 【対応】 条件に該当した状況で処理者を削除した際の対象を操作中書類に限定するよう修正

5. R3.2.0b

5.1. 概要

バージョン	リリース日	インストール (※1)	概要
R3.2.0b	2026年2月27日	—	<ul style="list-style-type: none">R3.2.0(a)へ適用可能な累積パッチです。

※1:チェックのあるバージョンは新規インストールが可能です。チェックのないバージョンは前提バージョンへの適用のみ可能です。

5.2. 前提バージョン／環境

- R3.2.0、R3.2.0a に適用できます。
- 前提バージョン未満の場合は、一度前提バージョンへアップデートした後に適用してください。
- 個別パッチ(R3.XX.Xz 等)を適用されている環境については適用可能か弊社サポートまでお問い合わせください。

5.3. 更新モジュール

モジュール	更新要否	補足	アップデート方法
AgileWorks 製品本体	○	AP サーバ複数台構成の場合は全 AP サーバがアップデート対象です。 SDK 開発者端末の AgileWorks にも忘れずにアップデートしてください。	別紙「AwU01-サーバアップデート.pdf」を参照
外部ジョブマネージャ	○	外部ジョブマネージャとして導入している場合のみアップデート対象です。	
外部メールサービス	○	外部メールサービスとして導入している場合のみアップデート対象です。	
ASB	○	ASB を導入している場合のみアップデート対象です。	
X-WebForm for Agile	—		新規インストールと同様の方法で上書きインストール
Eclipse Plugin	—		別紙「AwU02-Eclipse 環境アップデート(SDK).pdf」を参照

5.4. 対応環境の変更

対応環境の変更はありません。

5.1. 新機能

新機能はありません。

5.2. 機能改善・仕様変更

No	管理番号	カテゴリ	内容
15.	ZA5900	全文検索	書類インデックス作成ジョブでのパフォーマンスを最適化 ※書類インデックス作成ジョブでメモリのキャッシュ単位を引数で指定できるようになりました。

			(-clearCache) 詳細は全文検索ガイドの「書類インデックスの準備 > ジョブ実行時の引数とジョブの動作」をご参照ください。
--	--	--	---

5.3. 解決した問題

No	管理番号	カテゴリ	内容
42.	ZA6220	書類検索	マスタ参照があるフォームを日付指定で詳細検索するとシステムエラーが発生し、検索ができない 【対応】 条件に該当する場合でも書類検索できるよう修正
43.	ZA6222	全文検索	マスタインデックスからローカルインデックスに反映する際にマスタインデックスの全件を読み込み処理負荷がかかる 【対応】 ローカルインデックスへの同期処理が AgileWorks の起動時に動作しないように修正 ローカルインデックスへの同期処理時の対象データを最適化 ローカルインデックスへの同期処理時のエラーハンドリングを最適化
44.	ZA6223	全文検索	一度に 500 件を超える書類操作(書類移管・自動申請・論理削除)を行うと、書類インデックス作成ジョブで未処理データが発生する 【対応】 条件に該当する場合でも書類インデックスが作成されるよう修正
45.	ZA6224	ジョブ	回付情報最適化ジョブで NullPointerException が発生し、異常終了する場合がある 【対応】 条件に該当する場合に異常終了しないよう修正

6. R3.2.1

6.1. 概要

バージョン	リリース日	インストール (※1)	概要
R3.2.1	2026年03月31日	○	<ul style="list-style-type: none">R3.2のメンテナンスリリースです。

※1:チェックのあるバージョンは新規インストールが可能です。チェックのないバージョンは前提バージョンへの適用のみ可能です。

6.2. 前提バージョン/環境

- R3.2.0, R3.1.1, R3.1.0, R3.0.1, R3.0.0, R2.13.3, R2.13.2, R2.13.1, R2.13.0 に適用できます。
 - 上記バージョンの場合でも、リリース日時点ではリリースされていなかった a,b 等の累積パッチリリースには適用できません。
 - 詳細は「[バージョン別ライフサイクル](#)」をご確認ください。
- 前提バージョン未満の場合は、一度前提バージョンへアップデートした後に R3.2.1 へアップデートを行ってください。
- 個別パッチ(R3.XX.Xz 等)を適用されている環境については適用可能か弊社サポートまでお問い合わせください。

6.3. 更新モジュール

モジュール	更新要否	補足	アップデート方法
AgileWorks 製品本体	○	AP サーバ複数台構成の場合は全 AP サーバがアップデート対象です。 SDK 開発者端末の AgileWorks にも忘れずにアップデートしてください。	別紙「AwU01- サーバアップデート.pdf」を参照
外部ジョブマネージャ	○	外部ジョブマネージャとして導入している場合のみアップデート対象です。	
外部メールサービス	○	外部メールサービスとして導入している場合のみア	

		アップデート対象です。	
ASB	○	ASB を導入している場合のみアップデート対象です。	
X-WebForm for Agile	○		新規インストールと同様の方法で上書きインストール
FlowEditor (Windows アプリケーション版)			新規インストールと同様の方法で上書きインストール
Eclipse Plugin	○		別紙「AwU02-Eclipse 環境アップデート(SDK).pdf」を参照

6.4. 対応環境の変更

対象	カテゴリ	新たにサポートする環境	サポートを終了する環境
サーバー動作環境	OS	—	—
	Web サーバ	—	—
	アプリケーションサーバ	—	—
	DB	—	—
	JDK	—	—
	サーバー環境	—	—
クライアント	OS	—	iOS 13, 14, 15 iPadOS 13, 14, 15
	ブラウザ	—	—
	モバイルオプション	—	iOS 13, 14, 15
	JRE	—	—
フォーム作成 (X-WebForm for Agile)	OS	—	—
	JDK	—	—
グループウェア 連携オプション	グループウェア	—	—

※1:管理サイト、ユーザーサイト、ガジェットを利用できるようになりました。

モバイルサイト、共通機能は利用できません。

X-WebForm、FlowEditor は利用できません。

6.5. 新機能

No	管理番号	カテゴリ	内容
1.	ZA6017	FlowEditor	表示の拡大・縮小機能 Ctrl + マウスホイール操作により、フロー表示を 0.5~1.5 倍の範囲で拡大・縮小できるようになりました。
2.	ZA6004	WebAPI	回付ルール作成 API 外部システム等から API を通じて回付ルールを新規作成できるようになりました。
3.	ZA6005	WebAPI	回付ルール更新 API API を通じて既存の回付ルールを更新できるようになりました。
4.	ZA6011	WebAPI	添付ファイルを指定した書類表示 API ファイルを指定した状態で、申請用の書類表示が可能になりました。
5.	ZA6012	WebAPI	検索結果のページング対応(一般権限) 書類検索・回付情報検索において、ページサイズ、オフセット、ページ番号の指定が可能になりました。
6.	ZA6013	WebAPI	検索結果のページング対応(管理権限) 管理者向けの書類検索・回付情報検索においてもページング指定が可能になりました。
7.	ZA6155	WebAPI	回付ルール取得 API 回付ルールコードを指定して詳細情報を取得できるようになりました。
8.	ZA6167	WebAPI	回付ルール一覧取得 API 条件を指定して、登録されている回付ルールの一覧を取得できるようになりました。
9.	ZA6172	ドキュメントビューア	Office ファイルの添付プレビュー機能

			<p>Word、Excel、PowerPoint ファイルを PDF に変換し、ブラウザ上でプレビューできるようになりました</p> <p>※AP サーバーに LibreOffice のインストールが必要です</p> <p>詳細は「Aw25-添付プレビュー Office ファイル用機能拡張ガイド」をご参照ください</p>
10.	ZA6019	管理サイト	<p>クラウド版の書類データファイル出力対応</p> <p>クラウド環境において、自動出力されたファイルを S3 へ出力できるようになりました</p> <p>出力したファイルは「AgileWorks クラウドストレージ機能」によってダウンロード、削除が可能です</p> <p>詳細は「AgileWorks データストレージ操作マニュアル」をご参照ください</p>
11.	ZA6020	管理サイト	<p>埋め込みフォント管理機能</p> <p>管理サイトから PDF 用の埋め込みフォントをアップロード・削除できるようになりました。</p>

6.6. 機能改善・仕様変更

No	管理番号	カテゴリ	内容
1.	ZA5690	FlowEditor	Windows アプリ版のログに出力される内容を最適化しました
2.	ZA5962	iceBerg	書類アーカイブ時にユーザー書類ビューが iceBerg に同期されるようになりました
3.	ZA3197	iceBerg	iceBerg において、アーカイブ元の AgileWorks をシステム URL で判別しないよう変更しました ※URL 変更後も既存のアーカイブ済みフォームとして扱われるようになります
4.	ZA6210	SCIM API	display 項目の読み取り専用に変更しました ※SCIM 準拠対応
5.	ZA6051	SCIMAPI	組織作成、更新 API にて親組織を指定できるようになりました
6.	ZA5646	WebAPI	公開フォルダ・公開フォーム取得 API 実行時の基準日に指定できる日付範囲を AgileWorks のバックデート申請設定に連動するように変更しました ※バックデート申請が禁止されている状態で過去日を指定すると API 実行時にエラーとなります
7.	ZA6274	アーカイブ・自動削除	アーカイブ・自動削除設定にて「自動削除のみ」モードを選択して保存すると確認ダイアログが表示されるようになります
8.	ZA6029	インストーラー	製品モジュールに同梱されているミドルウェアのバージョンを変更しました ・Apache HTTP Server:2.4.66 ・Tomcat:9.0.113 ・JDK:8u472
9.	ZA5598	ジョブ	回付完了後の公開期間を過ぎた書類の未処理の報告タスクに関するデータが削除されるようになりました。 ※報告確認が行えない状態になっているデータを削除する対応です 回付情報最適化ジョブにて処理されます
10.	ZA5399	ジョブ	回付履歴データをリセットし再集計するジョブを追加しました ・回付履歴再集計ジョブ
11.	ZA5645	ジョブ	書類インデックス作成ジョブにてエラーが発生した場合に対象の書類 ID がログに出力されるように変更しました

12.	ZA6022	ジョブ	<p>回付完了後の公開期間を変更した場合に、既に変更前の公開期間で作成された閲覧権限データを変更後の公開期間に短縮する機能を追加しました ※公開期間の短縮のみ行えます</p> <p>デフォルトは無効になっています 回付情報最適化ジョブにて引数を指定することで本機能が有効になります</p>
13.	ZA5355	ドキュメントビューア> コメント	コメント/メモ画面にてコメント付き承認時の情報表示を最適化しました
14.	ZA6015	ファイル出力	<p>書類データを Excel 形式で出力する際の仕様を以下のように変更しました</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象フィールド、データ 数値・整数のフィールド、書類 ID ・変更内容 数値形式として出力
15.	ZA5614	マスタ参照ウィンドウ	<p>マスタ参照ウィンドウ表示時のパフォーマンスを改善しました ※業務カテゴリ、及び業務カテゴリ内のマスタ参照コンポーネントが多い場合に効果がやすい改善です</p>
16.	ZA5724	外部マスタ	PostgreSQL 環境の外部マスタ(拡張)で小数型(DECIMAL)を扱えるようになりました。
17.	ZA5073	公開フォーム関連データ	公開フォーム関連データのインポート時に、何らかの要因で JSP ファイルの作成に失敗した場合に警告エラー(IMPCMN_E0028)を出力するようになりました。
18.	ZA5290	脆弱性対応	log4j を削除しました
19.	ZA5643	脆弱性対応	PDF.js のバージョンを v5.3.31 に上げました
20.	ZA5999	脆弱性対応	AgileWorks、外部ジョブマネージャー、外部メールサービスの Apache Commons FileUpload のバージョンを 1.6 に上げました
21.	ZA6024	脆弱性対応	検索エンジンのクローラを拒否するように設定などを追加しました
22.	ZA5232	脆弱性対応	AgileWorks のアップロード処理などにおいて CSRF の対策を行いました
23.	ZA5233	脆弱性対応	SSO 認証成功後のリダイレクト処理において CSRF の対策を行いました
24.	ZA6156	脆弱性対応	CVE-2025-61795 への対応として製品モジュールに同梱されている Tomcat のバージョンを変更しました
25.	ZA6243	脆弱性対応	CVE-2026-21925 への対応として製品モジュールに同梱されている JDK のバージョンを変更しまし

			た
26.	ZA6244	脆弱性対応	CVE-2026-21932 への対応として製品モジュールに同梱されている JDK のバージョンを変更しました
27.	ZA6245	脆弱性対応	CVE-2026-21933 への対応として製品モジュールに同梱されている JDK のバージョンを変更しました

6.7. 解決した問題

No	管理番号	カテゴリ	内容
1.	ZA4784	iceBerg	Hidden フィールドのみで構成された書類が存在する場合、iceBerg の全文検索インデックス作成ジョブが NullPointerException で異常終了する 【対応】 該当条件に一致した書類をスキップするよう修正
2.	ZA5376	PAPI	ジョブから DocService#getDocPdf を大量に並列実行すると、スレッド滞留により OutOfMemory やハングアップが発生する可能性がある 【対応】 定期的により一時データを削除するよう修正
3.	ZA5791	PAPI	OrgService の addUser を使用してユーザー登録を行った場合、アカウント管理から検索ができない 【対応】 事象が発生しないよう改修 ※履歴モードが無効な場合、適用開始日を AgileWorks としての最小値(1900/01/01)として作成されるようになります
4.	ZA6053	PAPI	PDF 出力条件を設定したフォームに対し FormService.getForm を使用するとエラーが発生する可能性がある 【対応】 該当条件に一致した場合に事象が発生しないよう修正
5.	ZA5956	SCIM API	SCIM API の組織情報作成時に組織名に 256 文字以上を指定すると組織が作成されない (PostgreSQL のみ) 【対応】 256 文字以上の場合はエラーを返すよう修正
6.	ZA6065	SCIM API	履歴モードが無効の時に SCIM API を利用して組織の組織コードまたは組織名称の変更を行うと前日の日付で適用終了日が設定され、当日の適用開始日が設定された組織が新たに作成される

			<p>【対応】 該当条件に一致した場合に上書き更新されるように改善しました</p>
7.	ZA6183	SCIM API	<p>SCIM API の PUT/PATCH メソッドが SCIM 標準仕様と一致しない場合がある</p> <p>【対応】 PUT は指定なし項目を null 更新し、PATCH は指定項目のみを引き継ぎ更新するよう修正</p>
8.	ZA6191	SCIM API	<p>SCIM API のユーザー情報作成時にユーザー名などに 256 文字以上を指定すると組織が作成されない (PostgreSQL のみ)</p> <p>【対応】 256 文字以上の場合はエラーを返すよう修正</p>
9.	ZA6199	SCIM API	<p>SCIM API でリクエストボディが不正だった場合のエラー内容が正しくない (HTTP ステータスコード「401」が返却される)</p> <p>【対応】 該当条件に一致した場合に 400 (Bad Request) を返すよう修正</p>
10.	ZA6211	SCIM API	<p>Oracle や SQLServer 環境で SCIM API のユーザー作成・更新を実行するとき、ユニバーサルロールへの所属ができない</p> <p>【対応】 該当条件に一致した場合にユニバーサルロールへの所属が登録されるよう修正</p>
11.	ZA6213	SCIM API	<p>SCIM API のユーザー作成で、組織やロールを指定して value に null や存在しない値を入れると、レスポンスはエラーだがユーザー作成される</p> <p>【対応】 該当条件に一致した場合にロールバックされるよう修正 ※エラーの発生のみとなり意図しないデータが登録されなくなります</p>
12.	ZA5946	Webhook	<p>現在は使用されていない表明細があるフォームの場合、Webhook 送信が失敗する</p> <p>【対応】 該当条件に一致した場合に事象が発生しないよう修正</p>

13.	ZA5996	Webhook	<p>ビジネスチャット通知連携・Webhook 送信先設定において、特定の項目が 256 文字以上設定できない</p> <p>【対応】 256 文字以上扱えるように修正</p>
14.	ZA6001	Webhook	<p>テキストエリアの値を含む Webhook 送信に失敗する場合がある</p> <p>【対応】 該当条件に一致した場合に事象が発生しないよう修正</p>
15.	ZA5815	X-WebForm	<p>最大入力行数が設定されているテキストエリアに校正・要約・翻訳を反映すると行数制限が正常に動作しない</p> <p>【対応】 校正・要約・翻訳の結果がテキストエリアの制限を超える場合、適用ボタンを押下できないよう修正</p>
16.	ZA6083	アップデーター	<p>R2 からのアップデート環境、もしくはデモデータ使用している環境の場合、Webhook の送信先 URL が 255 文字までしか設定できない</p> <p>【対応】 アップデータにて 256 文字以上を設定できるよう対応 ※R3.2.1 以降へのアップデートによって上記の処理が実行されます</p>
17.	ZA5058	ジョブマネージャ	<p>書類物理削除ジョブが異常終了する場合がある</p> <p>【対応】 該当条件に一致した場合に事象が発生しないよう修正</p>
18.	ZA6056	ステージング	<p>ステージング環境で同期化を実行すると、設定済みのクライアント ID(ライセンス情報)が削除され共通機能へログインできなくなる</p> <p>【対応】 該当条件に一致した場合に事象が発生しないよう修正</p>
19.	ZA5750	ドキュメントビューア	<p>基準日時点で代理権限を持たない状態で、過去に代理権限で処理した書類を「コピーして新規」とエラーが発生する場合がある</p> <p>【対応】</p>

			該当条件に一致した場合に事象が発生しないよう修正
20.	ZA5899	ドキュメントビューア	表示されたマスタ参照ウィンドウ、カレンダーをマウスで動かすことができない。 【対応】 ドラッグできるよう修正
21.	ZA3545	ドキュメントビューア> PDF	画像ファイルの取得を http(https)で行っている場合、PDF 生成時にエラーが発生し PDF 生成の出力に失敗する事がある 【対応】 一時データの削除処理を見直し、事象が発生しないよう修正
22.	ZA5884	ドキュメントビューア> 添付	既存添付ファイルを編集した後、添付ファイルを新規登録した場合、既存ファイルを新規登録したファイルで更新してしまう 【対応】 該当条件に一致した場合に事象が発生しないよう修正
23.	ZA6143	ドキュメントビューア> 添付	書類に追加されている添付ファイルのダウンロードに時間がかかる場合がある 【対応】 該当テーブルにインデックスを追加
24.	ZA6170	バックアップ・リストア	リストア(restore.sh)実行時にエラーが表示される場合がある(Linux 環境のみ) 【対応】 該当条件に一致した場合に事象が発生しないよう製品モジュールのリストアスクリプトを修正
25.	ZA2967	マスタ参照ウィンドウ	マスタデータを利用しているフォームを移行すると、別のマスタデータを参照してしまう場合がある 【対応】 該当条件に一致した場合に事象が発生しないよう修正
26.	ZA5385	モバイルサイト	作成ステップでコメントが必須である書類をモバイルサイト／モバイルアプリで送信すると、送信時にエラーになり送信できない 【対応】 該当条件に一致した場合に事象が発生しないよう修正

27.	ZA5424	モバイルサイト	モバイルサイト/モバイルアプリにて通知先ユーザーを検索すると NullPointerException が発生する 【対応】 該当条件に一致した場合に事象が発生しないよう修正
28.	ZA4765	ワークフロー	同一ユーザーに重複回付しない設定により、相対指定で決まった処理者の重複を解消した結果「該当なしスキップ」となったステップがある書類で、書類物理削除ジョブや回付情報最適化ジョブがエラーとなる 【対応】 該当条件に一致した場合に事象が発生しないよう修正
29.	ZA5851	ワークフロー	AgileWorks バージョンアップ後、処理者変更履歴が大量にある環境で、書類表示や承認操作に時間が掛かる場合がある 【対応】 該当テーブルにインデックスを追加
30.	ZA5594	管理サイト>サイト管理	サイト状況 > ログインユーザーからログイン ID『admin』のセッションを削除実行するとエラーになる 【対応】 該当条件に一致した場合に事象が発生しないよう修正
31.	ZA5312	管理サイト>公開管理	SQL Server 環境においてフォーム管理>フォーム設定で関連フォームを削除すると、公開フォーム関連データインポートでエラーになる場合がある 【対応】 該当条件に一致した場合に事象が発生しないよう修正
32.	ZA5268	管理サイト>書類管理	詳細検索で日付書式(前0なし)の文字フィールドを日付指定で範囲検索した場合、正しい結果が取得できない 【対応】 年月日の区切り文字がある書式の場合、検索できるよう修正 ※「yyyy/MM/dd(前0なし)」「yyyy-MM-dd(前0なし)」「yyyy年MM月dd日(前0なし)」
33.	ZA5950	構成	Apache2.4.60 以降の環境で静的ファイルが読み込めず、画面表示が崩れる場合がある 【対応】

			Apache の設定ファイルを変更しました ※Apache HTTP Server を 2.4.60 以降へ上げる際に設定の変更が必要です
34.	ZA6247	書類アーカイブ	データ不整合がある場合、初期アーカイブの AP インポート中に外部キー制約違反でエラーが発生する 【対応】 該当条件に一致した場合に事象が発生しないよう修正
35.	ZA5636	全文検索	表明細以外のフィールドが全て Hidden フィールドの書類が対象にある場合、書類インデックス作成ジョブが異常終了する 【対応】 該当条件に一致した場合に事象が発生しないよう修正
36.	ZA5350	組織インポート	自動アカウントロックが解除されたユーザについて、組織関連インポートでアカウントロックしようとしてもロックされない場合がある 【対応】 該当条件に一致した場合に事象が発生しないよう修正